

県内の夫婦2組 祝賀行事に招待

両陛下結婚50年

宮内庁は十九日、四月十日の天皇、皇后両陛下結婚五十年の祝賀行事の一環として当日、皇居・宮殿に招かれる全国の夫婦百一組の名簿を発表した。

宮内庁によると、両陛下の「喜びを国民と分かち合いたい」との考えに沿つて、都道府県が中心となり、今年中に結婚五十年を迎える夫婦の中から、それぞれの地域で社会貢献や奉仕活動などを続けてきた人々を選んだ。招待された夫婦は当日、宮殿で両陛下とお茶を共にして懇談する。

県内からは、加藤吉男さん〔山形市久保田三丁目、加藤工匠社長〕と妻の豊子さん〔山形市久保田三丁目、加藤県議〕と妻のミツ子さんの二組が招待された。

招待者には農漁業に従事してきた人や、民生・児童委員、朗読のボランティアをしてきた人のほか、中には両陛下と同じ日に結婚した長野県の夫婦も。商工会や農協などの団体トップを務めた人が目立つほか、元職を含めた首長や議員、選挙管理委員長など自治体関係者が約一割を占めた。

■山形新聞 2009年(平成21年)3月21日(土)の記事です。